

女尊男卑化が進んだ世界――

この世は、女性が男性を
支配する時代へと移行していた……



はい、確保です。
愚かですね……オス奴隷が女権国から
脱出しようだなんて。

逃げられなくて残念だったね！。
でも絶対許さないよ？
お前はたっぷりお仕置きしてやるから♡

お願いします……
ゆ 許して……



権力・軍事・法律
すべてが彼女たちの手中の中。

男は家畜奴隷のように管理され、
彼女たちは彼等を
「オス」と呼んだ――



そんな女権社会の中で
密かに動く男たちがいた。

レジスタンス――

かつての自由を求め、活動する
抵抗組織である。

「彼」もその一人だった……

女権国への潜入任務を託された諜報員^{スパイ}。
しかし任務の最中、彼は捕らえられてしまった。

そして彼にはまだ、女権国が掌握していない
「レジスタンスの情報を知る者」
という価値が残されていたのだった。



ほら、さっさと仲間の居場所、教えなう
それとも、もっと痛めつけられたい？

♡

ガッ

ガッ

ガタ...

ヒィ...

ヒィ...

ぐっ.....言うもんか！
俺は、お前ら女どもの様な悪には
絶対に屈しない.....！

むちっ♡



強情なオスで面倒ね……

このままだと、情報を吐かせる前に殺しちゃいそうだし……

——仕方ないわね♡



ooooooooo

お前は

「特別尋問室」

行きね。

そこなら痛みじゃなくて、別のやり方で
情報を聞き出せるから♡

その声には、暴力的な苛立ちではなく

どこか楽しいげな悪戯の気配が混じっていた。

女は男の腕を掴むと、引きずるように立たせ
別室へと連れていく。

この部屋で待つてなよ。

じきに特別尋問官さんが来るからね。

女はそう言って男を部屋に残し、帰っていく。

そこは、先ほどまでの冷たい尋問室とはまるで違っていた。淡い照明、柔らかな壁の色、ほんのり香る甘い匂い。

まるでリビングのような、妙に落ち着いた空間。

緊張感よりもむしろ、心が緩むような感触が支配していた。

そして――彼の目の前に、現れた。

はい、初めまして♡
キミが女権国に忍び込んでたつていう謀報員のオス？
力任せの尋問じゃ口を
割らなかつたらしいね♡

(なり………!!)

はっ、はっ、はっ

むっ、むっ、むっ



「この女が特別尋問官！？……は、裸だと！？」

しかもデカイ！身長も体格も俺より数段…それとこの……」

あら♡なーに？

女の子様の裸を見るのは初めて？

目線が私のカラダに

釘付けになってるよ♡

「な……何が女の子様だ！」

男の尊厳を踏みにじる女がッ！」



威勢の良いオスだね♡
まあ、男の尊厳〜とか言ってる時点で
まだ女の子様との格差を理解してない
残念な子みたいだけど
『なんだと………』



で…も……
「これから私が遂行する
「おっぱい尋問」で♡
キミがうつても気持ちよく
レジスタンスの仲間のオス共を
裏切れるようにしてあげるから♡ よろしくね♡

「お…おっぱい尋問だっ?」

そう♡

キミがちっさから気になってる
私のこの爆乳おっぱいを使って
尋問してあげるの♡

痛いことなんて絶対しないよう
おっぱいで気持ち良くなつて、
女の子様の言う事なんでも
聞いてくれるおっぱい奴隷に
してあげるね♡



「色仕掛けしてやつか……ふざけやがって！」

どんな尋問を受けても、俺は仲間達の居場所は吐かないぞ！」

カツ」つけてる割には

声が震えてるよう？

もしかして……

おつきいおっぱいに

ビビっちゃうまぢなかつ

それとも……

「おっぱい尋問」って

聞いて……「これから

どんな「ビビられるのか

楽しみのデスネデスネ」っての……あかねー？♡

「な……舐めるなッッ」



わざとらしく赤ちゃん言葉で男を挑発し、
その大きな乳房を誇らしげに揺らす尋問官の女。

「この女は武器も何もない丸腰の状態だ……
こいつをここで倒して女権国から脱出する！
もうチャンスは今しかない！！」

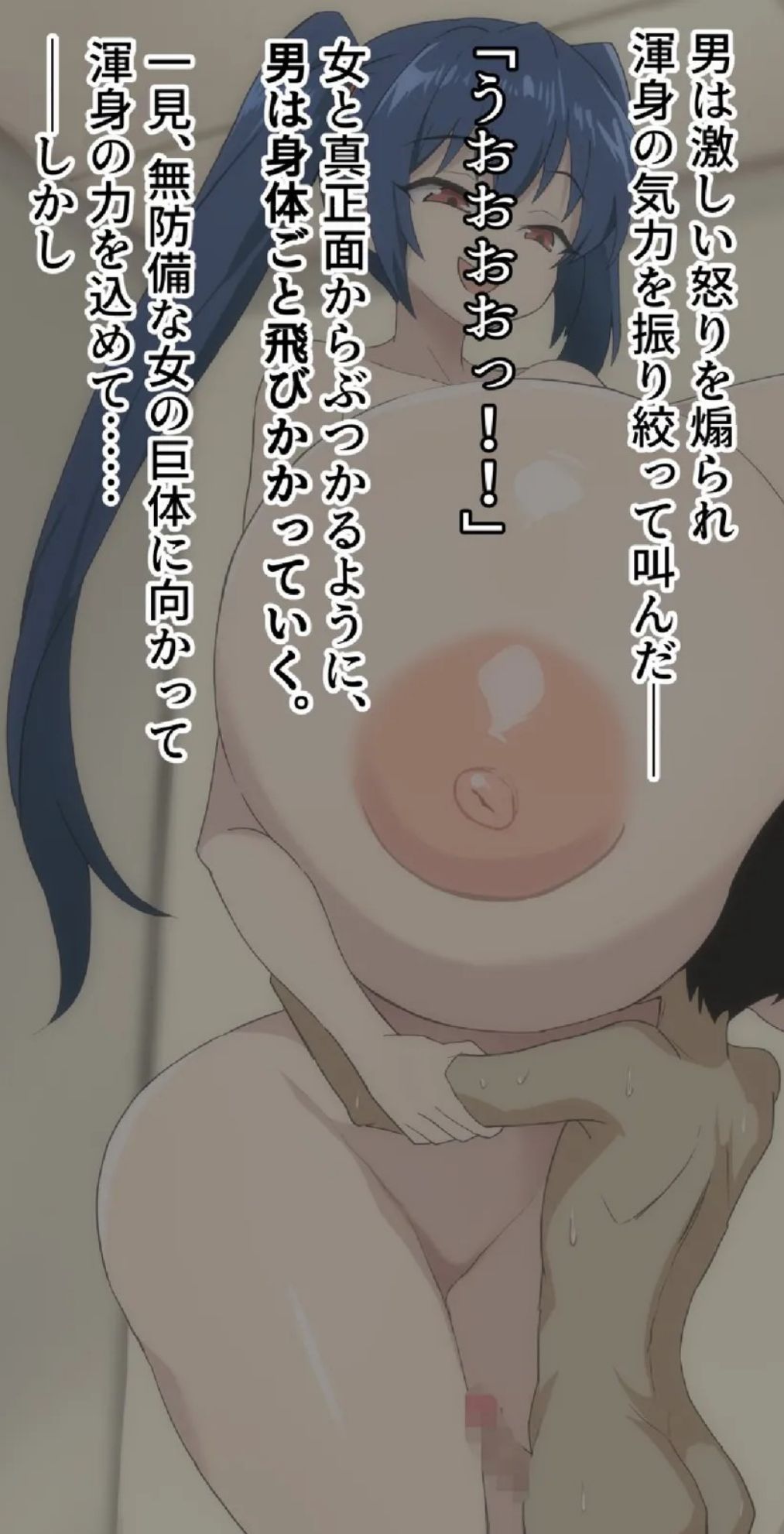
男は激しい怒りを煽られ
渾身の気力を振り絞って叫んだ――

「うおおおおっ！！」

女と真正面からぶつかるように、
男は身体ごと飛びかかっていく。

一見、無防備な女の巨体に向かって
渾身の力を込めて……

――しかし



—むぐっ!?

あら♡

急に突っ込んできて
どうしたのー?

おっぱいに甘えたく
なっちゃった?

それとも……
こんな弱い力で私のこと
倒そうとしちゃったのかな?
いけない子だー♡
そのわるーい腕、掴んじゃうね

もにゅっ♡

(なんだと……っ
全然効いていない?)

(ぐっ、この女っ
ただデカいだけじゃない……
力が……っ
とんでもなく強い……っ!)

がんばれ♡ がんばれ♡

そんなへボい攻撃じゃ
女の子様は倒せないよう？

威勢が良かったのは
最初だけかな？♡

くす♡

もう体温が上がって汗かいちゃって、必死だね？

まだ私、何もしてないんだけどw

丁度良いからこのまま

「おっぱい尋問」 始めちゃうね♡

っ!?

ぶるん、♡

(むぐぐぐ………)

くそお!

はあ、ピクともしない!

はあ……

言っとくけど
相手が私じゃなくても、
キミなんかが勝てる
女の子なんていないからw

これが
オスと女の子様との力の差♡

生き物としての格が違うの♡

そもそもチビで貧弱オスのキミが
この体格差のある私に勝てる訳
ないよねw

はい、言いたい放題
言いやがってえ！
こんなやつ………）

はあ……

30.3h

どうして勝てるって
思ったんでちゅかあ？♡

力だけじゃなくて、
頭の方もよわよわな
おバカさん
なんでちゅかね？♡

赤ちゃん言葉で馬鹿にされて悔しい？
おっぱいに顔埋めたまま泣いても
良いんでちゅよー？

ほら
「えーん！ ママー♡」
ってさw
あっはは♡

くそっ くそお！
こ、こんなデカ胸……っ

30.3h

ていうか……
いきなり私のカラダに
目掛けて全身突っ込んで
きたのも

本当はこの
大きな爆乳おっぱいに
むしゃぶりつきたかった
だけでちゅよねー？

ほら、
ザコオス赤ちゃんのボクくん♡

もつとママのおっぱいに
甘えても良いんでちゅよ♡

ぶるん、
♡

うつぶ……
はあっ はあっ

くそお！
何がママだ……っ

こんな……
こんな女………！

クスクス♡

だんだん息が荒くなつてきてるけど
もう疲れてきちゃった？

それとも……

ママのおっぱいに興奮
してるのかな？

!!!

むにゅ♡

はぁ……

むにゅ♡

まさかそんな訳ないでちゅよねー♡
自分の全力が全く通用しなくて
馬鹿にしてくる敵の女に興奮する
なんてねー♡

あれえ？
なんか更に息が荒くなつて
まちえんかあ？♡
もしかして図星だったん
でちゅかね♡

はあ♡

はあ♡

クス♥だってボクくんってば、
さつきからずっと
ママのおっぱいの中の……

エツチで甘い香り♥に
大興奮してまちゅもんねー？♥

気付いてないとも思った？

ママはゼーんぶお見通し
でちゅよお♥

んぐっ
はぁっ
♥

♡

クス♥ ボクくんってば、
だいぶ息を乱してるけど大丈夫？
顔も熱くしちゃって♥
本当のこと言われて恥ずかしく
なっちゃいまちたか？

フス... フス...

いったん深呼吸して、
息を整えたほうが
良いんじゃないでちゅかあ？

はあっ♡

はあっ♡

なーに？息を止めちゃって生意気〜♥
ふふっ♥おっぱいの甘い匂いで
力が抜けちゃうもんね♥

でもそんな抵抗もいつまで持つかな？

フス...

フス...

ちゃんと呼吸しなきゃ
なおさら力が出せないんじゃない？

それに.....

ふー...ふー...

♡

♡

息を止めたら、今度はおっぱいの感触も
だんだん気持ち良く感じてきてるよね？♥
ママのおっぱい♥
あつたかくて柔らかかくて、
ずっと包まれていたい〜♥って
なっちゃうよねー♥

よわーいオスは、それが当たり前♥
オスはおっぱいの
前じゃ無力なの♥
だからあ……

フス…

フス…

もにゅっ♥

むにゅ♥

ぐくぐく…

さっさと負けを認めて、

オスども こと

仲間達の情報 ♡

教えて？

プライドなんか捨てて♡
女権国に協力してくれたら
ママとっても嬉しいなあ♡

ガク…
びく…

肌に張り付くような柔肉に

男のわずかな吐息が混じり、漂う湿気。

完全に息を止めるのも長くはもたない。

少しずつ呼吸をする度に、女のカラダから

発せられるぬくもりが肺に染みこんでいく。

「んむっ…… はあっ はあっ♡ はあ♡」

自分の顔を包む空間に確かな気持ち良さを感じる男。

気を抜くと意識までも支配され、つい従ってしまいそうだった。

——くすくす♡

と女が笑う。

甘く、優しくまるで幼子をあやすようなその声に

男は心地良さと同時に危機感を覚える。

（おっぱい尋問……舐めていた。

この女の胸は……おっぱいは危険だ！！

手遅れになる前に、今すぐ離れなければ……！）

男は瞬間的に力を振り絞り、掴まれた腕を振り払い

女から距離を取るうとするが——

ガク…
びく…

逃がさないーい♡♡

—むぐう!?

たっ
みん
ん

いっしょ

7/1
1/4つ♡

自分から手を出してきたくせに
勝てそうに無いからうって逃げ出すなんて
ママ、許さまぢえんよー？
しばらくの間、おっぱいの中で
反省ちまぢようね♡

（んっ♡やわらかっ♡
……ああっ！♡どうしてよっ!?
身動きとれないっ♡♡♡）

むぎゅ〜♡

ビクッ

ガッ

抜け出そうとしてもムダでちゅよ？
ママがしっかり抱きしめてまちゅから♡
ママとの力の差は理解してまちゅよね？
おっぱいに閉じ込められたオスは
絶対に逃げることはできまちゅえーん♡

（息が……っ♡、早く……
抜け出さないと意識が……
た、たしゆけてえええん♡♡♡）



暗くて息ができなくて怖いでちゅねー♡

ねえ、^{スパイ}謀報員のボクくん？

キミ今、おっぱいに負けてるんでちゅよお♡

（んっひららー♡）

私^{ママ}がこのまま離さずにいれば

ボクくんはおっぱいに殺されちゃうの♡

おっぱいに命握られちゃったんでちゅよw

情けないでちゅねー♡



でも大丈夫、安心して。

ママそんな酷い「ど」しまちえんからね♡

落ち着いて、僅かな隙間からなら
息が吸えるから♡やって「ど」ちえん？

(♡ー♡)

ほーら♡

鼻と口から、ゆっくり大きく吸ってえ……



ふう つはー♡ すうー♡はー♡

（息が吸える……た、助かった……）

このまま意識を失なわないためにも
呼吸を整えるしかない……でも……♡）

そうそう♡お上手でちゅね♡

おっぱいから染み出る

エッチな濃密であまーい香り♡

そのままたっぷり吸い込んでね♡

（ああっ！意識しないようにしてたのたい♡
だめえ♡おっぱいの匂いがあ……♡♡♡）

はぁ…

はぁ…



ふー♡っはぁ♡んぶお♡もっお♡♡♡

くす♡全身ビクビク震えちゃって♡
それに呼吸も乱れてきてるよ♡
おっぱいの谷間深くのえっちな空気
直で吸っちゃったろ、そっなるって
想像つきまちなんでちたかあ？♡

ごめんごめんw
そうでもないとかくくん、
おっぱいの中で意識失っちゃう
とっでちたもんね♡
仕方ない♡仕方ない♡



か
タ
...

か
ク
...

むぐう♡っはあ♡んあっ♡

(いっ)から出してえ!♡ 頭変になるうう♡)

まあ、どっちみち今も意識犯されて
大変みたいでちゅけどね♡

ふふ♡
でもボクくん、すぐ辛そうで流石に
かわいそうだから解放してあげまぢゅね♡
おっぱいから出してあげる♡

!!



か
タ
...

か
ク
...

なーんて、ウンでーす♡

閉じ込めたままおっぱい揺らして
もっともみくちゃにしたい♡

（やめてええ！♡出してえ！♡
助けてええええん！♡♡♡♡）

えい♡えい♡えーい♡
ぷるんぷるん揺れるママの
凶悪爆乳おっぱいがボクくんの
頭をシェイクしちゃいまちゅ♡

はるん♡

おん♡

ぽんぽん♡ぽんぽん♡
ゆっ♡ゆっ♡ぽん♡ぽん♡
んぽ♡♡ぽん♡ぽん♡……♡
もう無理♡！やめてええ♡♡♡

あは♡ボクくんってば、おっぱいの
中で溺れちゃってたいへん♡
もぐもぐ言っても何言ってるか
ママわかりまちえーんw
頭まるごとパイズリで意識ぐと
犯されてる気分はぐうぐうか〜？

ぽん♡

ぽん♡

気持ち良いのに死ぬほど苦しくて
頭ぶっこわれちゃいそうでちゅねー♡
これならまだ酸欠でくたばってた方が
マシだったんじゃないでちゅか？w
おバカなクソザコ赤ちゃん♡

脳みそイキ狂わせながら
おっぱいの強さと恐るしさ
よく理解しまちようね♡
オスは女の子様には勝てない♡
女の子様のおっぱい様にすら敵わない♡
アツハハハハハハハハハハ♡♡♡

ばるん♡

びるん♡

っひい
い
い
ん♡♡

やめてええええん♡♡♡



しばらくして――

息苦しさど、甘ったるい香りに包まれたまま、
男の顔はようやくその谷間から引き上げられた。

っ……はぁ……っ
はぁ……っ……！
……く……
♡♡♡

女は男の目線の位置までしゃがみこみ、顔を覗き込む。
力が抜け、息を整えるだけで精一杯の男に対して
余裕たっぷりの笑顔で見下ろす女。
まるで弱った獲物を観察する捕食者。
両者の立場の違いは明らかだった――



ボクくんに勝ち目は無いの♡

気持ち良くなっちゃうオスは、

女権国で女の子様たちに

支配されるべきなの♡

そんなの……やだあ♡

それに、負けて……き……
気持ち良くなんか……

ふーん、じゃあ……どうして「コ」❤️おっ、ちくってるんでちゅかあ？❤️

ひ
い
ッ
ッ
ッ
!
?
♡
♡
♡

おちん○んが大きくなるのって、
気持ち良くなってるって
「ごでちゅよねー?♡

しかもガマン汁で
ヌルヌルになってるしw

憎い敵の女に力で敵わず、おっぱいで弄ばれて♡
負けて♡苦しめられて♡興奮してるんでちゅよねー♡
おっぱいマゾのザコオスくん♡

ああんっ♡
ち…
違うもん…♡
マゾなんかじゃ…



ふーん、

まだ否定する意志はあるんだ♡
でもそれもいつまで持つかな？

おっぱい尋問はオスを……

おっぱい大好きマゾちゃん♡

に、堕としちゃう尋問

なんでちゅよー♡

そ…

そんなあ……♡

やめてえ……♡

そうならもうマゾには逆らえない♡絶対に勝てない♡

次はその可愛いち○ぽ、マゾのおっぱいで直接いじめてあげるね♡

えいっ♡



いっ……あああああああ♡♡♡

はーい♡ボクくんのマゾち○ぽが
ママのおっぱいに食べられちゃったー♡
勃起してもママの爆乳が大きすぎて
呑み込まれちゃってるね♡

こんなの絶対勝てないよって
格差感じちゃいまちゅね？♡

重くて…やわらかつ…♡♡♡
これ気持ち良すぎて♡♡ダメええ♡

その様子だと余裕も無いかな♡
ずっと我慢してきたもんね♡
いいよ♡お漏らししちゃって♡

あひいっ♡もう出ちゃう……ああ……ッッ♡

あふん♡

はい♡自いお漏らしびゅっびゅっ♡
おっぱいに挟まれただけで射精しちゃったね？
ボクくん、力だけじゃなくて
ち○ぽも弱〜いでちゅね♡

はあ……♡ はあ……♡

お顔も良い感じにとるけてきまちたね♡
ねえ？敵の女のおっぱいに気持ち良くさせて
射精しちゃって、もう仲間のオス共に合わせる
顔が無いんじゃない？

そ………そんなこと………

うっぴゅっ♡
おっ…♡

だってキミ、仲間達の期待を背負って女権国に
乗り込んできたのに、成果ゼロどころか
マゾ射精なんてさせられて♡
情けないにも程がありまぢゅよー？♡

んっひいひい……♡

ウス……

××

それに……さっきから私に
「ボクくん」って呼ばれたり、
「でぢゅまぢゅ」って赤ちゃん言葉で
煽られて感じちやっってるよね？
ママが気付かないけども思い
まぢたか……♡



だ、だってえ……♡

だって何？w

どう言い訳するんでちゅかあ？

こんな姿、もし仲間に見られたら

恥ずかしいでちゅねー？

ねえ♡もうオスのプライド

なんか捨てちゃおう？

ママにレジスタンスの情報教えて？

お願い♡ボクくん♡



い……嫌だ……ッ

どうして？もうボクくんがママを倒せたり
女権国から逃げ出せる手段も無いって
わかるよね？もし協力してくれたら
オスにしては悪くない待遇もしてあげるよ？

そ、それでも……ダメえ……！！
勝てなくても……俺は……
仲間……裏切れないっ！

——ふん、あつぞ。
じゃあ少し手荒にいかせてもらっから。
覚悟してくだちゃいね♡



ほら♡射精直後の敏感ザ「ち○ぽ
パイズリでブチ犯しちゃいまちゅ♡

ツツ♡

あっひいいいいん！♡♡♡♡

ぱん♡

ぬちゃ♡

アハハ♡可愛い声で喘ぎまちゅねー
腰が抜けそうなくらい気持ち良いでしょ？
これやられて正気でいられるオス
なんかいないからねw

これ無理い……♡♡やめ……♡♡
んっ♡ひゃああ……♡♡ああっ♡♡♡♡

パイズリ♡

はい♡2回目のお射精どぴゅどぴゅー♡でも休ませない♡
このまま金玉の中身カラッポになるまで
絶対に止ませせん♡

んぎい!?そんなっ♡んあッ♡♡♡

だってママ、

「覚悟してね」って言ったよね?

クス...

ボクくん、言う事聞いてくれないから
その気になるまで虐めてあげるだけ♡
ザコい癖に生意気なち○ぽ、ぶっ壊れる
まで扱き続けまぢゅからねー♡

あーあ♡

さっさと言えば止めてあげるのになー♡

んはあ...ッ♡んぐっ♡♡あああああッ♡♡♡

ば
ちゅ♡

と
びゅ
♡

い
ん♡

また射精たー♡
でもまだまだ終わらなーい♡
ほらほら、ススの凶悪ばいばいが
ザコち○ぽ容赦なく虐めちゃいまちゅ♡
ばちゅん♡ばちゅん♡
ぬっちゅん♡どっちゅん♡

いっひいー!!♡♡ああッ!!♡♡

クス♡びゅるびゅる噴き
出てくるボクくんの精子が
ママのおっぱいでゼーんぶ
圧殺されちゃってまちゅねー♡
かわいそー♡

はちゅ♡

いぢゅ♡
さるふ

いぢゅ♡

さっさと降参すればいいのにねー
ボクくんのち○ぽだっつて……
「え〜ん、助けてえ〜！」
このままだと壊れちゃう〜
ママのおっぱい強すぎて
負けちゃうように許して〜」
っつて言ってるよ♡

オス同士の仲間意識だかなんだか
知らないけどさ、このみち全員
女権国の奴隷にしてあげるから♡
ムダな抵抗なんかしちゃっ
いけない子には罰として……♡

は
ちゅ♡

ふ
じゅ♡
びゅ♡

ぱ
ん♡

スピードアップ♡

さっきよりも勢いよく爆乳を
上下に動かしてちやいまーす♡

いっひいっひー！♡♡♡ あああ♡！！♡♡♡

はちゅん♡

ぬちゃ♡

ドロドロのマゾ汁にまみれたちの○ぽを
何度もぶっ潰して、もっと精子搾り
上げちやいまちゅからねー♡

ぐたぽん♡

どうでちゅかーこれ？
刺激が強すぎて連続お漏らし
止まりまちなんねえ？
ママのおっぱいはボクくんの
オムツじゃありませんよ♡

ああああッ♡♡

ひゃー…らめえ♡♡

クス♡

ママね、「これまでも」のおっぱいで
何人ものオスのち○ぽを
壊してるんでちゅからね♡

ぬっちゅ♡

びゅっ…

どろろ…

ばちゅ♡

そう♡反抗的だったり、弱って使い物に
ならないオス奴隷は…爆乳パイズリで
再起不能にしてあげるんでちゅよ♡
みんな泣きながら命乞いするん
だけど……絶対許しまちえん♡

んあっっ♡♡
ひゃめてっ♡♡もう……っ♡♡

最後はち○ぽ壊れて廃人確定♡
オスなんて女の子様のおっぱいだけで
制圧できちゃう雑魚なんでちゅよ♡
悔しい？でもこれが現実でちゅからね♡

ぬっちゅ♡

ばっちゅ♡

ぐわっ♡

ひゅひゅ♡

オスは女の子様には勝てない♡
大きなおっぱいには絶対勝てない♡
もう射精の量もだんだん少なくな
ってきてるし限界近いよね？

ひ、ひゃあいつ♡♡
だからもうっ♡お願い……っ

やっ♡
このままだと本当に負けちゃう♡
こんなひどい女なんかには♡
おっぱいなんか殺されたくないよお♡

ぬっ♡
ちゅ♡

ばっ♡
ちゃ♡

ぐっ♡
ぐっ♡

ひゅっ♡
ひゅっ♡

って……ぶっ♡アッハハハ♡♡
大丈夫でちゅかあ？目の焦点がズレて
キモいアへ顔晒してまちゅよーw
馬鹿にされて、一方的におっぱいに
ち○ぽボコられてそんなに
気持ち良いんでちゅかあ？
もう完全にマゾじやんお前w
ち、違っ……♡ひぎいい♡♡んああん♡♡

ぬちゅ♡

ひゅひゅ♡

ぐわん♡

ばちゅ♡

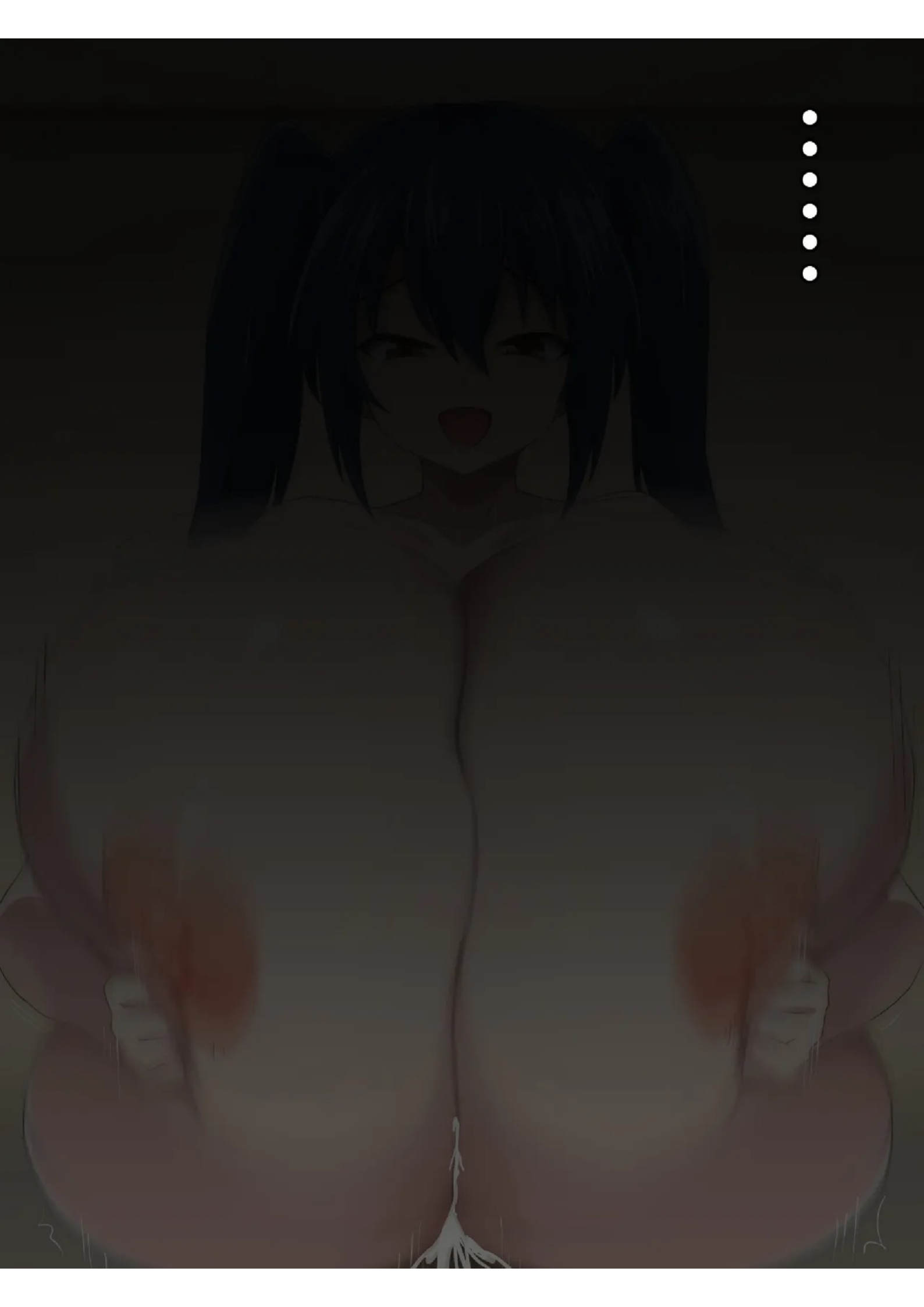
本当は仲間を裏切りたくないんじゃないやなくて
こうやって、エッチでっつよーいママに
虐められたいだけでちゅもんねー？
良いでちゅよー♡このまま
意識ぶつとぶまでズリ犯して
あげまちゅからね♡♡

ひいんツツ♡

もうやだあツ♡

助けてええん♡♡





尋問官による激しいパイズリの動きがふいに止まった。

宣言通り、男の精はこれ以上搾り尽くせないほどに奪われていた。

強烈な快感と度重なる射精の衝撃で男の意識はすでに薄れかかっている。

「へえ、ザコオスにしてはなかなかの忍耐力じゃん♡
そんなボロボロな状態になってまで□を割らないなんて……
諜報員に選ばれるだけのことはあるね。」

「うう……」

「顔色ひどいよ？」

汗も涙も精液も、全部大量に出しちゃったもんね♡
そのまま意識を落としたら、間違いなく死んじゃうよ。」

（ぐっ……くそお……）

全身から体液を失ったことで、男の身体は極度の脱水症状と損耗に苛まれ、もはや瀕死。喉の渇きは声すら奪い、言葉を紡ぐことも困難になっていた。

「でもね、「うちとしても利用価値のあるキミを死なせるわけにはいかないんだよね。
だ・か・ら・あ……」

ほおろ♡
ママのおっぱい♡
じゅわん見てる？



「ううしてえ……はい♡乳首の先っぽから、
真っ白なミルクが溢れてきちゃいまちた♡」

ねえ、くたばり損ないのボクくん？
ママのこのミルク
飲みた〜いでちゅよねえ？

んふふ
♡…

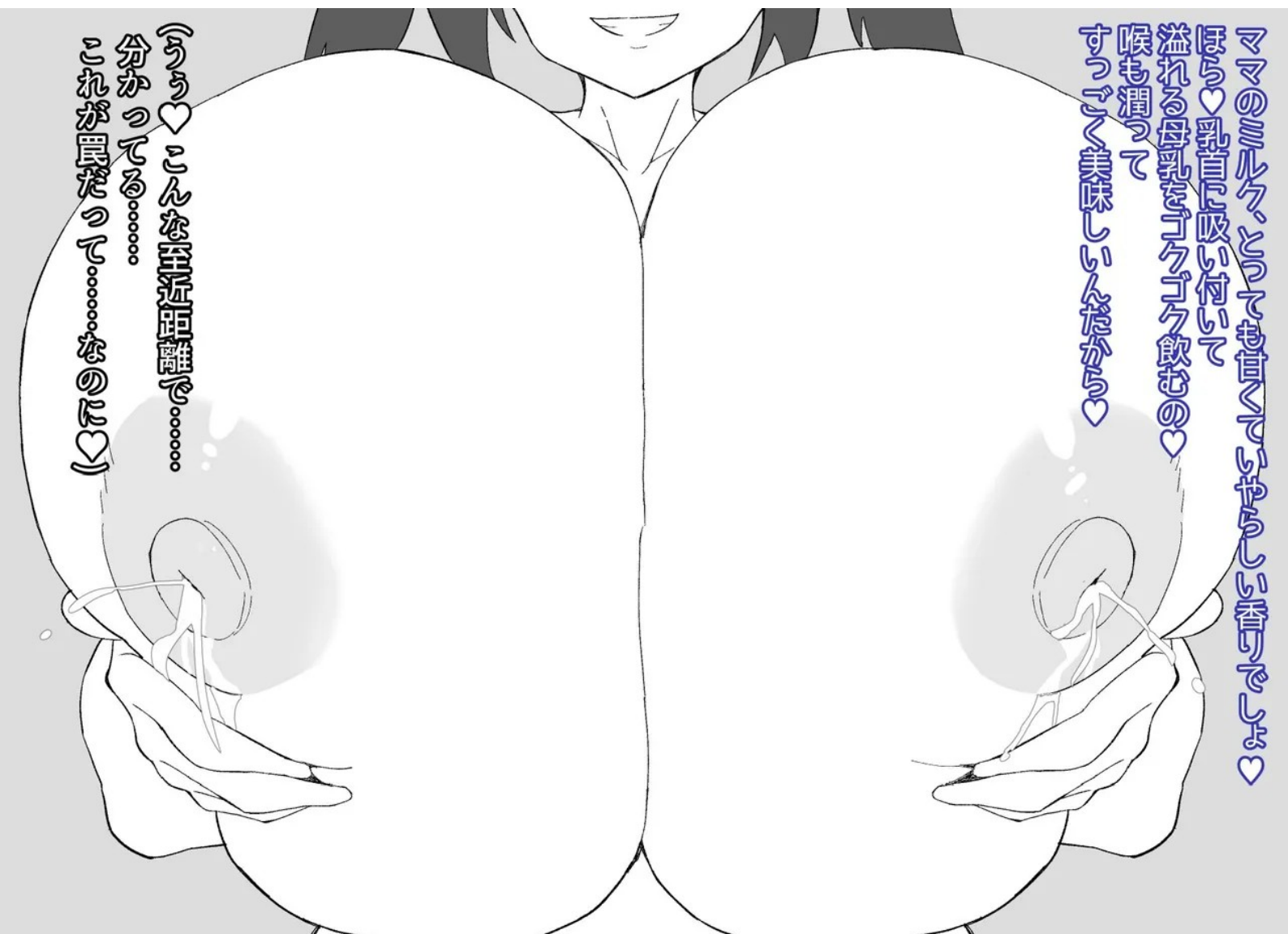
（な、何と言って……）

そんなもの飲むわけ……でも
この甘い匂い♡ や、やばい♡（♡）

ひゃっ
♡…

ママのミルク、とっても旨い♪♪♪
ほら♡乳首に吸い付いて
溢れる母乳をゴクゴク飲むの♡
喉も潤って
すっごく美味しいんだから♡

(うう♡こんな至近距離で……
分かってる……
これが異だって……なの♡)



……ったく

おい、

無駄な抵抗すんな？

さっさと飲めよう？

マゾ♡



やーん、本当に飲んじやったあ♡
ママの命令、ちゃんと聞けて
偉いでちゅね♡

（ああっ♡生き返る♡
おっぱい……おっぱい♡）

こく
こく
こく

夢中で吸い付いちゃってえ♡ママのミルク、おいちいでちゅか？
……って、その顔見れば答えはいらないでちゅねー

くす♡

あれだけ搾り取ってあげたのに、
もうチ○ポ元気になって
きちやっってるじゃない♡

！！

ニ
ご
ご
...

(おいしい♡あつたかくて♡
甘くてえ♡
おっぱい……最高だよ♡)

「このミルクにはね、オスの精力を二気に回復させる効果があるんでちゅよ♡
しかもそれだけじゃなくて……
ほら、「オナニー開始」しろ♡



（ひっ！？）
そ、そんな……♡（）

凄いでしょ♡

ה"ל
ה"ל

今みたいに強制オナニーさせることだってできちゃうの♡
つまり、もうボクくんはママの操り人形ってわけ♡

それにね、この母乳は中毒性バングン♡
一度口にしたらお腹いっぱいになるまで止められないの♡
今のボクくんが
その証拠だね♡

しかも成分が身体に残っている間は、ママに絶対服従♡
そんなに飲んじやったらもう完全に手遅れ♡
もしもこの状態で尋問したら
仲間の情報なんて簡単に聞き出せちゃう♡

(うう！こんな危険なもの……
飲むわけにいかないのに♡
もう止められないいいん♡)

(くっ♡最初からこれが
狙いだったのか……
もう終わりだ……)



「キミ、結構見どころあるしさ。今回は特別に見逃してあげる♥

仲間のところへ帰ってもいいよ。追わないし、私の負けだってことで構わないから」

「た、助かったのか……？ いや……」

「母乳はね、キミを回復させるために飲ませてあげただけだよ。
ほら、さっさと帰ってば。いつまでしゃぶりついてんの？ それとも……」

「この女は……♥」



「せっかく見逃してあげるのに、
わざと私に敗北^{ママ}したいんでちゅかあ？♡♡」

（徹底的に俺の心を屈服させる気だ……!!）



（身体が熱い。震えが止まらない……あの母乳を、もつと飲みたい！
明らかに中毒症状だ……この女は、それに気づいてわざと俺を
逃そうとして……!!）

「んー♥なあに？ 言いたいことがあんなら、ちゃんと一言わなきゃわかんないよお♥」
（くそっ♥白々しいにも程がある♥このデカ乳女あ♥）

「ほら？ ママにぶっつけてほしいのか、ちゃんと聞かせてくだサーーい♥」

（わかってるくせに……!!）

でも俺にだってプライドがあるんだ、簡単には言えるかよっ♥）

「ふふ♥ お目々がもうトロトロになっ てまちゅよお♥
おーい、もしもーし？ ……はあ……」

（ああん♥おっぱい……おっぱい♥おっぱい♥おっぱい♥）



そんなに苦しそうじゃ、可哀想だから『命令』してあげるね♡
くだらないプライドなんかぜーんぶ捨てて……♡
お前が本当に思ってる』と、素直に言え♡

(!!♡♡♡)

ママあああ♡
も、もう一回……おっぱい飲ませてくだひゃい
い
い
い
い
い
い
い
♡
♡
♡



「くすっ♡それって屈服宣言ってことで良いんでちゅかね？
仲間たちのところに帰れるチャンスだったのに……裏切っちゃうんだー？」

「はひい♡ボ、ボクの負けでひゅ♡おっぱいには勝てまひえん♡
仲間なんかよりもママの爆乳おっぱいの方が好きでしゅ♡」

「うわあ、サイテー♡じゃあ、とりあえずレジスタンスのアジトの場所、
それから人数規模や活動内容を教えてくれるかな？
そしたら気が済むまで飲ませてあげまちゅよー♡」

「ひゃい♡場所は女権国から西方の——、人数は——……」

「ふーん、そんな所で活動してたんだ。

……その程度の規模なら脅威でもないし、少し泳がせて遊んでもいいかもね」

「ママあ……♡おっぱい……♡」

「あーはいはい♡それじゃあ仲間を売ったご褒美ミルク♡
たーんと飲ませてあげまちゅねー♡ほら♡」



んっひいひい♡♡♡

たっぷり飲んでくだちゃい♡
ママね、女の子様の
味方してくれる
ザコ赤ちゃんは
だいちゅきなんでちゅよー♡

くすくす♡そんなに夢中になって...ボクくん、自分が何をしたらか
分かってまちゅかあ？ 大事な仲間を敵に売り渡したんでちゅよう？

「おっぱい♡おいちいっ♡
もう、このおっぱい無しじゃ
生きていけだやい♡」

んっひいひい♡♡♡

（ひいひい♡だって♡だってえ♡）

仕方ないでちゅよねえ♡
ママのぱいぱいミルクが
こんなにエッチで
美味しいのが
悪いんでちゅもん♡

だからあ……そんな正直なボクくんのために♡
もっどサーブスおげすむわ♡

♡?♡



ミルクの濃度を更に濃くしちゃいまーちゅ♡
オスを発情させる凶悪な成分が
身体の隅々にまで
染み込んでじゃう♡
あら大変♡

オスの意識を蝕む危険なミルク♡
いっぱい飲んでくださちゃーい♡

（こんなの……
正気じゃいられないいん♡♡♡）

（んあぁっ♡脳が溶けりゅうつ♡
ミルクで全身が犯されりゅ♡）
〜エ〜♡

ミルク……

がッ……



.....うて、うーうー！
ミルク「ぼ」じてるじゃないでっかか！
せつかくママが飲ませて
あげてるのに、
駄目な子でちゅねえ♡

（だってミルク多すぎない♡
口から溢れて.....♡）
「げーい」♡

ん...ん

が...

♡ ぽろぽろ♡ 命を落とすのはかわいそう♡ そんな悪い子にはおめー♡



——「オナニー開始」♡

そっぴん……

「射精しろ♡」

(~~~~~♡♡♡)

っ！！

おっぴん♡
おっぴん♡

まだ「ほ」してるじゃないでちゅか♡
そんな態度じゃお仕置きは止めておげますんよ♡



ほら、

「射精♡」

「もっと射精せ♡」

「ザ」精子ぶちまける♡」

（あひら♡んぎらら♡
ああああん♡）

（ん）

（ん）
（ん）
（ん）

くす♡連続射精苦ちいでちゅかあ？

もうこの快樂地獄からは逃げられまちなからね♡

ママのミルクをしっかり飲んでいれば精力は尽きないから

無限に射精できまちなよ♡

ただし、いずれ身体も精神もボロボロになっちゃうけどね♡

（ひぎいい♡
頭おかしくなるぅ♡）

あっはははは♡
やめてほしいならちゃんと
残さず全部飲めって
言うてるでしょ♡
お仕置き欲しさにわざと
こぼしてるんじゃないのぉ？

だったらいいよ♡えっちな悪いママのつよつよ爆乳ミルクの虜になって
その汚いクソ雑魚マゾ精子ミルク♡
たくさんぶちまけちゃいまちようね♡



い♡♡♡
あ♡♡♡♡
ん♡♡♡♡
い♡♡♡
あ♡♡♡
ん♡♡♡
い♡♡♡
あ♡♡♡
ん♡♡♡

んっひいいいん♡♡

許してええええん♡♡♡

ううう

ううう

ううう

ううう



——数日が経った。

レジスタンスのアジトは静寂に包まれていた。
女権国へ忍び込んだ諜報員からは
定期的に報告が届いていた。

『無事に情報収集(作戦)は進んでいる』

——男たちは、そう信じて疑わなかった。

だが、その油断を切り裂くように、
予期せぬ二人の侵入者が姿を現す――

「ふーん、ホントにこんな場所に隠れてたんだ？」

「やつほー♡ オスのみんな、女の子様が会いに来てあげたよー♡」

「なっ………!?!」

アジトの場所は仲間以外に知られるはずがない。

出入り口の扉も厳重なセキュリティで固められていた。

にもかかわらず、この丸裸の女たちは

まるで当然のように立っていた。

「あーっ！っ！っ！が……っ！っ！やー！それより女が何の用だ！」

「なにって決まってるじゃん。

アンタら全員、女権国に連れて帰って奴隷にするために来たんだよ」

「っーっー」

あーっ

「ホントはもっと大勢で襲撃する予定なんだけど
私たちだけ先に到着しちゃってさ」

あーっ

「でもザコオス相手なら二人で十分♡正直、完全に舐めてまーす♡
武器もいらない、エッチなカラダだけで捕まえてあげるから♡」

『くっ……』

男たちに動揺が広がる中、ひとりの男がゆっくりと前に出た。

「舐めるなよ。俺たちを捕まえて好きにできると思うな」

その声に仲間たちの視線が集まり、わずかに希望の色が戻る。
だが、侵入してきた女たちはなおも余裕を崩さなかった。



「くす……『情報通り』出てきたね。」

レジスタンスの中でも屈指の武闘派くん。私たちに挑むつもりなんだ？」

「確かコイツが『一番強い人』でしょ？」

でも結局、他のオスと同じで大した『こと』なぞぞうだけと♡」



「お前ら……やはり俺たちの情報を握ってやがるな。
だが関係ない！ ここで返り討ちにしてやる！」

男は勇敢に二人の女に立ち向かう。
だがしかし――



「あっひいひいん!!!(♡)」

はい瞬殺。ようわw

裸にひん剥いて、おっぱいサンドに閉じ込めてえ……
ザコちのぽ確保♡

「ひゃひい!?!(♡)」



おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡

んぐ♡

おっぱい♡

「そ…そんな……」

「あいつがこんな簡単にやられるなんて……」

他のオスども、私たちにどどどって全員動けないみたい♡
誰も助けにこないんだけど？

力の差がありすぎて一方的だったもんね♡くすくす♡
女の子様に敗北けたオスがどんな目に合うのか仲間達に見てもらおうね♡

(?!♡)



このザコのち○ぽ、私らのお手々でイかせてやりまーす♡
ほら、扱いてあげるから我慢しろ♡



ヒ

44
44
♡

が
フ
ン
…
い

いー

סניטריה

憎い女に負けた挙げ句、こんなことされるなんて屈辱だよね♡
でもお、これがキミたちオスのあるべき姿なんだよ♡

敗北おち○ぽ♡しっこしっこ♡
ぶwガクガク震えてるけど何？
それで抵抗してるつもりなの？

（やめてえ♡いっから出してえん……！♡）

おーっ？

フスクス♡

っ（いっ）

っ（い）

びっ
びっ

おっぱいにギューって挟まれたら逃げられないし、力も出せない♡
それどころか気持ち良いんだよね♡
ホント雑魚過ぎw



やっぱ♡負けてこんな目に合わされて気持ち良いとかマジ？
どっしょようもないマジさんじいつw

ほんと、こんなザコマゾが一番強いとかw
終わってるよねー、このレジスタンス♡



(ひぎっ♡ だ、だめえ♡ みんなの前でえ♡)

顔が熱いね？そんなに恥ずかしいんだ？

でもマゾち○ぽは正直者♡

ご覧ださーい！ザコちん、もう我慢の限界でーす♡

っ(っ(っ(っ

ひぎっ
ひぎっ

っ(っ(っ(っ

楽しんであげようか♡

はい、それじゃ合図に合わせて情けなく射精さっね♡

せーのっ♡



「射精^イけ♡」

「射精^だせ♡」

ふっふっ

キャーっ

ぐんっ♡

しゃん♡

（っああああん♡♡♡）



あっはははは♡ 射精た射精た♡
降参の印の自旗お漏らし噴水♡
ぶっぴゅっぴゅー♡

お仲間のみんなも目に焼き付けたかな？
「これが女の子様に完全敗北したオスの姿だよお♡



レジスタンスの男たちは言葉を失っていた。

組織の中で最強の男が女にあっさりと封じられ、
嫩られ、精を搾り取られる姿は衝撃以外の何ものでもない。

「そ、そんな！でも……♡」

「うん……♡」

だが同時に、その光景は妙な興奮を呼び起こした。

情けなく喘ぐ仲間の姿に、恐怖と同時に強い熱がこみ上げてくる。



「クス♡仲間がやられてると」見て興奮しちゃった？
アンタらも全員マソ決定だね♡」

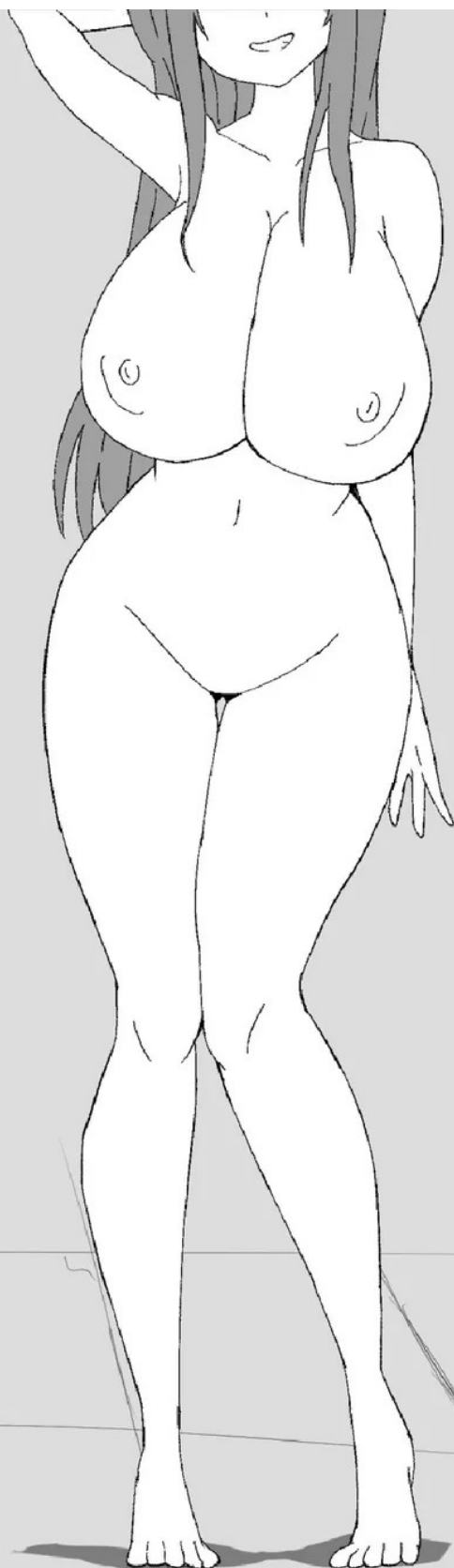
「きゃは♡
みんな次は自分が襲われる番だって
期待してるのかなあ？♡」



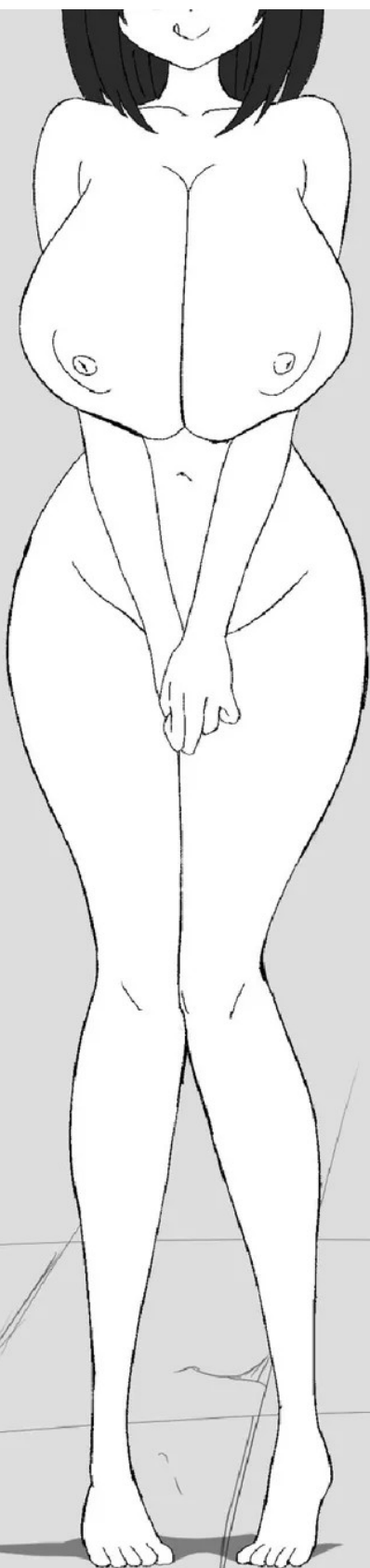
「みいっ♡」



「つとその前」……………
ねえ、そもそも何で「」の居場所がバレたのか教えてあげようか？」



「ryto~to♡」



「ん？ ……………」

「!？」

突如として、アジトの大型モニターに通信映像が入った。

「なんだ、このタイミングで……?」

仲間たちがざわめく。そこに映し出されたのは、

女権国潜入任務に出ていた諜報員の顔だった。

「クスクス♡」

「ぷっ♡くく……!」

映像を見るなり女二人が吹き出す。

カメラが引かれ、全体像が映し出された瞬間。

場内に絶句が走る。



！？

巨大な女の乳房。その先端に必死に吸い付くなかま諜報員の姿。目は完全に蕩け、快楽に溺れて抗う影もない。

「なっ、嘘だろ……!!」

「ど、どういふことだ、これは……」

画面の向こうで青い髪の女は誇らしげに胸を突き出し、
諜報員の頭を抱え込む。



「レジスタンスが女権国に送り込んだ諜報員くんはねえ〜……」

「ご覧の通り、すっかり堕とされちゃって♡」

女の子様に利用されてまーす♡もう何日も前から、ね♡」

「そ、そんなはずはない！」

「だってアイツは今日まで俺達に報告を届けて……」

誰もが信じたくはなかった。

組織の中でも屈指の忠誠心を誇っていた男が、
敵である女の乳に縋りついている。

画面の女は、蕩けた表情で乳に吸い付く

諜報員の頭を撫でながら語りかけてきた。



ごきげんよう、レジスタンスのみなさん♡
もう理解したと思うけど、この自慢の諜報員^{スパイ}くんがキミたちレジスタンスの
情報をゼーんぶ私たちに教えてくれました♡

「くっ、でたらめを……!」

ウソじゃないよー。

ね♡ボクくん?

ひゃ、ひゃいい♡^{アジト}本拠地の場所と内部構造つ
セキュリティの解除方法も、
レジスタンスのメンバーの情報も、
ぜんぶボクが喋りましたああ♡

ちゅぽ…

おぎゅう…

いっく…



うんうん♥おかげで超簡単に襲撃できまちた♥よちよち♥

「う、ウソだろ！つてことは、ここ数日の連絡は全て罠だったのか！？」「あいつが裏切るなんて……」

ねえボクくん、今レジスタンスどもが、ボクくんが裏切ったのショックで信じられないって顔してるよ？どうして裏切ったんだっけ？

おぎゅう…

ちゅぽ…

いく…

しよ、しよれは……女権国には勝てないと思って……降伏したほうが良いと……



嘘付き♥ホントの事言わないとまたキツいお仕置きしちゃうよ?

んひっ! マ、ママの……ママのおっぱい飲みたいくて! ♥
情報言えばおっぱいミルクたくさん飲ませてくれて気持ち良いからっ
おっぱいのために仲間を裏切りましたああん ♥

「なっ……!!」



そうだったよね♥よく言えまちたあ♥
ご褒美の女の子様の母乳^{ミルク}いっぱい飲んでくだちやいね♥

あーん♥おっぱい♥おっぱい♥
ママあー♥

裏切り者のボクくんはママの
ミルクだいちゅきでちゅもんね♥

「……………」



おい、レジスタンスの猿ども、ちゃんと見てるか？
この変わり果てたかつての仲間の姿を♡
こいつもう私のおっぱい無しじゃ生きていけないんだよ♡

一生おっぱいにしがみついて、母乳飲まないで
禁断症状が出ちゃうようにしてあげたの♡
もう廃人同然よね♡

「……」

ちゅっ♡
ちゅっ♡

んっく
んっ

くす♡ボクくん、ご褒美は「こ」までね。
そろそろ仲間^{みんな}に「アレ」見せてあげようか♡

『射精^イけ♡』

(いっひいひいひいひい♡♡)

「!?!」
「な…なんだ!?!」

にきゅー…

にきゅー♡

にきゅー♡



あはははは♡ち○ぽに触れずにママの命令だけで
射精するカラダにされちゃったんでちゅよね♡
ホント馬鹿みたいwほらもつと

『射精せ♡射精せ♡射精せ♡』

しばらく射精き狂ってる♡

この裏切りマゾ♡』

(やめてええええん♡
ママああん♡許してえん♡♡♡)



いっく
ちゅっ♡

しゃっ
どしゃっ♡

がたがた
がたがた
がたがた

くす♥これはお仕置き♥

レジスタンスを裏切った罰をお仲間さん達に代わって
ママが与えまぢゅ♥

これから仲間が酷い目に合うのも

ぜーんぶボクくんのせいでぢゅよーん♥

(ひいひいひい♥しよんなああ♥)

ひゅっ

どろろ...

ひゅっ
どろろ...

ひゅっ
どろろ...

やーん♥大量射精止まりまぢゅえんね♥

たいへーん♥

ミルク飲んで栄養補給してないと

死んぢゃいまぢゅ♥

そして悪いママのいど、もっと好きになりまぢゅえんね♥

がたがた
がたがた

がたがた

つて……あーらら、狂い過ぎて気絶しちゃったか。
割と頑丈なオスだったけど、
もうそろそろ使いものに
ならなくなりそうかなコレも♡

……

ほらっ？

あーあ♡

やろ……♡

お……♡

ビク……

い……

「こ、これが女権国の女……!」

「なんて恐ろしい奴なんだ!でも……♡」



さて、キミたちも残念だったね？信頼してた奴に裏切られてさ。
諜報員のが憎い？それとも……
羨ましいって思ったかなー？

「！！！♡」

もしそうだとしたら降参して、大人しく女権国の奴隷になっちゃいなよ♡
まあどっちみちキミたちには選択肢は無いけどね♡
素直に捕らえられるか、抵抗して捕まるかのどっちかだけどw
ちようど今、キミたちを捕らえる為の
オス狩り部隊の本隊が全員到着したみたいだから♡
「なにっ！？」



奴隷になりたくなきゃ
せいぜい頑張って逃げなよ。
まあ、ムダだろうけどね♥

映像の女はそう言うのと
モニターが不意に暗転した。

プリン

一瞬の静寂。
次の瞬間、アジト内へ
全裸の女たちが
列をなしてなだれ込んでくる。

「オス狩り部隊到着〜♡

全員捕らえてあげるから覚悟しなオスども♡」

「うわあ……ボロい隠れ家。

よくこんな場所で暮らせるね♡」

ガヤガヤと好き勝手な言葉を

投げ合う女たちは、戦場に來た兵士

というより遊びに來た学生のように

余裕たっぷり。

だがその気楽さこそ、

男たちを底知れぬ恐怖で縛りつけた。

「ひっ……！」

「や、やめる……！」

「ち、近づくなあー！」

「何「いっくらビロ」過ぎw」

「女の子様は怖くないでちゅよー♡
おっぱい飲みまちゅかあ？♡」

誰もまともに抗えない。
動揺し、足をもつれさせながら、
狭い空間で無様に
逃げ惑うしかなかった。



気づけば、

アジト全体が狩場へと変わっていた。

恐怖と騁り声が交錯する中、

オス狩りは静かに、

確実に始まったのだった。

逃げ惑う男たちの中、
一人はあっさりと捕らえられ、床に寝かされていた。
その上にのしかかる女の影――

逃げ場を失った獲物に悠々と覆いかぶさられた男は、
せめてもの抵抗を見せようとしていた――



ふふ♡ちっぞくチビオス一匹、捕獲完了♡♡♡

ひいっ くそっ女め……離れるっ！

なあに？ ただ上に跨がられただけで
身動き取れないのかしら？
ようわーい♡

足を軽く押さえてるだけで
ガツチリ固定されちゃってるじゃない♡
ほら、手だけは自由にしておけるから、
がんばって反撃してみなさいよ♡

馬鹿にしゃがってえ、このお！

あん♡おっぱい掴まれちゃった♡でもどうかな？
お姉さんのこの重たい爆乳♡
非力なチビオスくんの腕で押しのけられると思う？



ほらほら頑張らなさい？お姉さんに座布団にされちゃってる間にも仲間たちは他の女の子の餌食になってるわよ？このままで悔しくないの？

はあっ………ちくしょっっっのっ

くす♡そんなのが本気の抵抗だなんて無知なオスってホント滑稽ね♡教えてあげる♡

キミたちオスがどんなに必死になっても私達、女の子様には絶対敵わない力の差があるのよ♡

うっ………

でもあまりにも惨めで笑えるからW少しお遊びに付き合っただげるわね♡



えい…
この…
もにゅ♡
じゅ♡
じた…
はた…

いやあん♡チビオスくんってば強おい♡エッチでデカいだけのおっぱい、
細くて貧弱な腕に掴まれて感じちゃうー♡
このままだとお姉さん、
チビで非力なミジンコくんは
ホントに負けちゃうかもー♡
生意気なこと言っ
て
ゴメンなさーい♡
許してください♡
♡
あっははは♡

ぐっ　うん……

あれ？声が震えてるけど、
もしかして泣いているのかしら♡
でも残念ね、お姉さんの位置からだとキミがチビすぎるからお顔がよく見えないうわね。
ほら、おっぱいで隠れちゃってw

う、うるせえー……おっさま、
女が男を舐めたようにないと言っんじやねえー！！



はあ……あのね、チビオスくん？手加減されてるからって調子に乗ってる？
本当は私がその気になれば、お前みたいなゴキ虫なんて
秒殺できちゃうって分かってるかしら？

うっ……！？

嘘じゃないわ。
私たちオス狩り部隊は
女権国の精鋭よ。

己のカラダひとつでオスを制圧するなんて造作もないし、
今のお前みたいなのを押し潰して処刑するなんて、もっと楽よう？
だって力加減すら必要ないんだから♡

くっ………悪魔共め………許せない！

ったく、どこまでも反抗的な態度ね？

女権国に連行する前に少し馴けておこうかしら♡



ほおらー！

腰を上下に動かして体重かけてあげる！♡

いんよ♡

！？

ひぎいいいいい！

むち♡

あはっ！ 苦しそうな声出すわね♡

でも安心して？

これでも全然本気じゃないのよ？

せっかく見つけた新品の奴隷を壊す訳にもいかないし♡

ぐふっ！ んぎい！

すっ♡



えいつ♡ えーい♡

イキってたチビオスくんの体をお姉さんの

つよつよドスケベボディでプレス♡

むちむち下半身が降りてくる度に

内臓が圧迫されて

冗談抜きで苦しい筈よね♡

も、もう……がはっ！

た、助けて……！！

ぺりっ♡

やっ♡

びっ♡

なあに？ギブアップ？

これは女権国の奴隷になる

オスへの「賤け」なのよ？

女の子様である私が許すまで止める訳ないじゃない♡

ひっ、そんなあ……んぎっ！



それに♡

さっきから私のお尻に漬かれてるお前のち○ぽ、
だんだん元気になってきてるじゃない♡

んぎょー!? そ、それは……♡

はい

マゾ決定♡

こんなに苦しい目に遭わされてるのに

勃起しちゃうんだもの♡

それともさっきのお姉さんの演技でセックスしてるって
思っちゃった勘違いち○ぽなのかしら?

体格差ありすぎてセックスなんかできる訳ないのにねw
ほら、我慢汁もヌルヌルして、とっくに射精寸前よね?

んひっ♡♡♡



そうだな「」のまま射精と同時に.....

『逆らうって「メンなさい♡女の子様の奴隷になりますから許してくださいい〜』

って言えたら

賤けは終わりにしてあげるわ♡

そ、そんなこと♡

言えるわけ.....

は？ 言わなかったら.....

その小さい身体に本気で腰打ちつけて、

弱っちいち○ぽうと骨まで粉々にぶっ壊して捨ててやるけど？

ひさ.....♡

脅しじゃ無いわよ♡ ほら、じつにするの？

んひっ、ひっ♡



しやからって
ごめんなひや
いいいいいい
ぽくはおんな
のこひやまの
マゾ奴隷でひ
ゆううう♡♡

ゆるひてく
ださいいい
いいいい♡
♡♡♡

どっぴん
ぶいしゅん♡



あっけなかったわね♡
この程度のオス共なら、遊びながらも余裕で制圧できちゃうわ。
でもなかなか素直な良い子じゃない♡
決めたわ。お即、私専用の
サンドバッグ奴隷にしてあげる♡
今使ってるのも壊れそうだし
ちようどいいわ♡

しっ♡
ひっ♡
ひっ♡

は、はい……♡
嬉しいでひゅ……♡
毎日好きなだけポコってくだひゃい♡♡

ぷっ♡ もう負け犬根性丸出しね♡ そうそう、
女権国では上手に女の子様の機嫌を取れないと長生きできないのよ♡
よく分かってるじゃない♡



「ふふ♡逃げ場、なくなっちゃったね？」

「く、来るなっ」

壁際に追い詰められた男は、
必死に腕を突っ張って抵抗しようとした。
だが女は微笑んだまま一気に距離を詰め、
その大きな胸で男の顔を柔らかく包み込む。
優しく抱きしめられるように見えて、
実際は身動きを奪う支配の抱擁。

むちむちとした乳房が頬を押し潰し、
男の視界は一瞬で白い柔肉に覆われた。



うっぷ!?! もにゅん

はい♡むっぎゅん♡
お顔がおっぱいにすっぱりハマちゃった♡
こうされると全身の力が抜けて抵抗できなくなっちゃうでしょ?
まあできたところで私達には敵わないけどね♡
私は他のいじわるな女の子達と違って
優しく無力化してあげるから安心してね♡



(ぐっ、そんな！ 動け、俺の身体……!!)

あら？まだ僅かに動くことができるのね。頑張るじゃない。
流石はレジスタンスの一員といったところね。
じゃあ……

このまま私のおっぱいに包まれるのがだあい好きなの
おっぱい好き好き奴隷ちゃんにしてあげる♡

(!?)



ほら、落ち着いて♡

今はただ、おっぱいの感触と温度を感じることにだけに意識を集中して♡

（おっぱい……ああああ♡だめえ♡力が…抜け……でも♡）

幸福感に包まれてきたでしょ？

柔らかくて、あったかくて♡

おっぱいがこんなに良いものだって知らずに

これまでキミは生きてきたのよ♡

可哀想にねえ……

でもこれからはおっぱいが

あるからね♡

良かったねえ♡

（あああ♡おっぱい♡

おっぱいしゅきい♡♡）

ずん…

ひゅ…



そうそう良い子♡「ーんなエッチな爆乳おっぱいで
ぱふぱふさせてくれる女の子様に逆らう理由なんかもう無いよね♡
オスにとつて女の子様は女神様なの♡
それなのに今までコソコソ抵抗活動なんかして悪い子だったよね？
でもほら♡もう抵抗する意志にバイバイ♡
辛かったレジスタンスとしてのつまらない
日々にバイバーイしようね♡

(おっぱいいい♡
女の子様しゅきい♡)



うん♥その調子で、もーっとおっぱい様のこと好きになろうね♥
そう、おっぱいじゃなくて、『おっぱい様』
当たり前だよな？オス奴隷の分際でおっぱいを呼び捨てして良い訳ないよね？
おっぱい様に向かって言うってごらん？
『おっぱい様』って♥

「もぐっ♥んっ♥もおっ♥」
（おっぱい様ああ♥おっぱい様ああ♥）

やあん♥
おっぱい様くすぐったいって♥



興奮が高まってきたね♡
わかるよ、おちん○んの勃起止まらなくて
イライラしてるんでしょ？
おっぱい様もね、キミが情けなく敗北射精するところ見たいんだって♡
良かったね♡
ようやく射精させてもらえるよ♡

(!!♡)



でもねそれには条件があるの。
キミが本当に女の子様とおっぱい様を崇拝してるか
確認の質問をするからそれに答えなさい。
口は塞がつてるから……
答えが『はい』の場合は情けない腰へこで返事しなさい♡
私のカラダに亀頭を擦り付けようようにね♡
『いいえ』なら何もしくなくていいわ。



じゃあ始めるわね。

「僕は女の子様には勝ち目が無いから媚びるしか能が無いクズです♡」

「僕はもうレジスタンスの戦士じゃなくて、女の子様のおっぱい奴隷です♡」

「おっぱい様を世界で一番愛しています♡一生おっぱい様に従います♡」

「僕は女の子様の笑い者として利用されることに喜ぶクソマゾです♡」

ぷっ Wくく………W

全然腰へっ止まんないね？

だって答えが全部

『はい』

なんだから仕方無いよね♡



「これからの女権国での奴隷生活が楽しみで仕方ありません♡」

「こんな優しいぱふぱふじゃなくて

思いつきりおっぱい様に潰されて窒息したいです♡」

「たくさん女の子様のおっぱい様で

ポコポコになるまで虐められたいです♡」

くすくす♡
そっかそっかあ♡



「だからもう早く射精かせてください♡
おっぱい様あん♡」

「雑魚ちんちん苦しいでしゅう♡」

「助けて♡助けてえーん♡」



うん、もういいよ。

射精^イっちゃえ。バーカ。

(あっひいいいいいいん♡♡♡)



くす♡

おっぱい様とかバカじゃないの？

それにしてもこんな簡単に洗脳できるなんてね♡
オスつて本当、チヨロすぎて笑えるわ♡



しゅん

ぶっお

とろ...

「いっくらマジで弱すぎ♡」

「ほんと♡この調子なら予定より早く制圧できちゃうね。」

オス狩りを任務というより

ただの娯楽のようにこなす女たち。

完全に遊び半分の余裕すら漂わせていた。

逃げ惑う男たちも一人、また一人と捕まり、

あっけなく無力化されていく。

悲鳴は次第に喘ぎ声へと変わり、

抵抗の色は薄まりつつある。

そんな中でも

ひとときわ大きな女に絡め取られる男の姿があった。

「くそっ、離せ！ デカ女め！」

「あー、女の子様にそんな酷い」と言っちゃダメじゃん。そんなボクくんには罰として……スーい♡」



ひんひん♡

女の子様の大きくてエッチなカラダに閉じ込められちゃったね。

アタシこのまま動かないであげるからさ、頑張って逃げてみなよ？
ボクくんみたいな、ちっちゃいザ」の力じゃ
どうあがいても抜け出せないけどね。

くっ こんなの！
えいっ このおっ

ム
ん
ん

ちっぽカよわっ♡



アタシね、正直言つてオス狩りとか興味ないし面倒なの。
任務だから仕方なくやつてるけど.....

だからいつも、こうやつて弱そうなオスを二匹だけ捕らえて
時間を潰して遊んでるの。アタシはただ寝てるだけ♡
今のボクくんみたいにならばオスが無駄な抵抗するのを
放置してのリラクスタイム♡
責めてるフリして堂々とサボれるってわけ♡

このっ！舐めやがって.....くそお！

く...

こんなこと言われて屈辱的だよな？
でも弱っちいから抜け出せない♡
そ..し..て.....♡



抵抗すればするほど、女体で圧迫された
この状態が気持ちよくなってるぢやう♡
んっひい！♡

バレバレだよ♡ まあ無理も無いよね。
こんな状態だと、もがく度に柔らかい
おっぱいや太腿がむにむに♡
って擦れて興奮しちゃうもんね♡

体温が上がって
チビち○ぽは硬くなっちゃう♡
女の子様のカラダに勝てない
屈辱と興奮が紐付けされた
無力マゾ奴隷へ一直線♡



ガタガタ震えちゃって。

明らかに手を抜いてる女の子様に自分の力が
通用しないまま負けちゃうの悔しい？
マゾ奴隷にされちゃうの怖い？

だったら頑張って抜け出さなきゃ♡

ほう、
ふわふわでエッチなむにむに
おっぱいに埋もれてたまるか♡

綺麗な肌で可愛くて大きくて強くて
生物として明らかに格上の
女なんかに負けてたまるか♡

ちゅ……ちゅ……しょお……♡！♡



…って
腰へ「コ」振り始めてどうしたの？
台詞と行動が合ってなさすぎてウケるw
このまま射精してむちむち女体牢獄圧迫マゾ射精の
気持ちよさ知っちゃったらもう後戻りできないよう？

うるさーこのっ♡ デカ女めっ♡ 馬鹿だしやがってえ♡

何それ？アタシを攻めてるつもりなの？
あー、いるんだよね！ ボクくんみたいに
勝ち目が見えなくなると気持ちよさを優先して
自分から負け始めるザ！

しかも諦めないで
攻撃してる「フリ」までっつゝ……

そんなの免罪符にならないから♡
ていうかそんな小さいち○ぽ
ぶら下げてのへpoi腰へ「コ」が
攻撃とか笑わせないでよ♡



だまれえ♡ このっ♡このお……♡

あーもう、はいはい分かった。
どうせ退屈だし良いよ。

あーん♡チビオスボクくんのへこへこ攻撃かつ「いーいー」
爆乳に埋もれたフル勃起しても大したとこない
ザコち○ぽが乳肉にぶにぶに♡ぶにぶに♡って
弱々しく押し付けられてるう♡
もう女体牢獄の虜になってるくせに
認めたくないから抗ってるフリ
なんかしちゃって素敵！♡

仕方無いよね！。
こんな力の差を思い知らされたら
もう勝つ希望なんか無いし、
仲間たちも次々と堕ちていく♡

それなら自分も気持ちよく
なっちゃった方が得だもんね！。



こんなエツチで凶悪なドスケベむちむちボディに
閉じ込めたアタシの方が悪いもんね♡

最初は本当に抵抗してたのに不可抗力での
乳ズリが気持ち良すぎたもんね♡

カラダだけで支配されるの
好きになっちゃったもんね♡

もうイきそうだよね？
いっよ♡

射精す瞬間、
もっと強く抱きしめてあげるから♡

ほら、我慢しないで

射精っちゃえ♡



あつひやああああん♡♡♡

ぎゅっ

じゅ

ぎゅっ♡

じゅっ...

はい、

チビオスおもしろし
びゅるびゅる〜ん♡



女の子様に包まれながらの
ゼロ距離乳入り射精♡
これまで経験したことのない快楽でしょ？

寝てるだけで勝手に自滅してくれて
アタシも楽ちんでーす♡

他のオス挿ちえるのも面倒だし……
もう少しこのままでも良いよね？
その間、甘えたいも良いから♡

ふふ、女の子のカラダに
支配される気持ちよさ♡
わかりましたかあ♡



男たちは、なすすべもなく次々と捕らえられていった。
抵抗の声はすでに掻き消され、
アジトはもはや女たちの遊戯場と化している。
その中でも安息の場だったはずの仮眠室は、
今や捕らえた男を奴隷に堕とす
調教の場へと変えられていた。

「おっぱい♥
おっぱい欲しいん♥」

仄暗い中、柔らかな爆乳に縋りつき、甘え声を上げる男の姿。
そこに戦士としての誇りや威厳は、
もはや微塵も残されていなかった。



なあに♡ おっぱい飲みたいの？
ああそっか、仲間だった諜報員くんが墮とされたの見て
羨ましくなっちゃったんだ？

うんっ♡ おっぱい欲しいっ♡

ぷぷっ……♡
正直でいい子だねえ♡
でも分かつてる？
私も母乳は出せるけど……
飲んじやつたら確実に
廃人コース行きよ？

そ、それでも良いでしゅ♡
ぼくもミルクほしい♡

ぽよん♡

おっぱい♡



はいはい、わかったわよ♡

——どうぞ♡

爆乳ミルク、召し上がれ♡

ふ、ふ♡

ああああ♡

おっぱい♡

おいち♡

おっぱい♡

んふふ♡

必死に吸いついちゃって、
もう後戻りできないのに
可愛いね♡
でもお……

ぐわ
ぐわ

ぐわ
ぐわ



はい、ストップ〜♡ もうおしまい♡

♡!?!?

ええ……もう!?!? やだぁ……もっとな♡

そのまま!

お口は乳首から離しちゃダメ♡
手もおっぱい掴んだまま
絶対離さないでね♡



！？ か、身体が……！！

動けなくなっちゃったね♡ほんの少しでもミルクを
直飲みしちゃったら
私の命令からは避けられない♡

んっふふっん♡
すぐ目の間におっぱいが
あるのに大好きなミルク
もらえないの辛いねえ？悔しいね？

(お、おっぱいミルクう♡もっとお♡)

そんなに欲しいなら……♡



それえ♡『腰振りダンス開始♡』

(ひゃああああああ♡♡♡♡)

命令されてスケベ女体に
抱きついての情けない
太ももズリ♡

そうそう♡

ちっちゃい腰を必死に

上下へっこへっこ動かして

ガコちん擦りつけるの♡

こんなので射精したらきつと

最高に気持ち良いし

ミルクもあげるから頑張れ♡

(はやくっ♡ おっぱいほしいよお……ああ♡)

あら、もう射精ちゃう？ いいよ♡そのまま……



くすっ♡

『射精するな♡』

(!?!? え……?♡)

今、射精禁止命令を出したので
キミは射精けません♡
残念でした♡

(しょ、しょんなああ♡)

いきたいのにイけない……
でもズリヘコは止められな……♡

こうして腰振ってる間にも
キンタマの中身グツグツ煮込まれて

はやく射精したいという欲望が高まる♡

射精寸前のいき場の無い快感だけが高まって頭おかしくなっちゃう♡
そしてさらに——♡



えいつえいつ♡ 爆乳おっぱい揺らして
頼りないへこへこダンスをサポートしてあげる♡
振り落とされないようにしっかりと掴まってね♡

(んっひいいいいん♡)

ぐんぐん♡

どう？キミの弱へこだけじゃ
一生味わえない快樂ダメージ♡
もう理性なんか溶けて
無くなっちゃう♡ああんっ♡
早く射精したい♡
おっぱい飲みたい♡ん♡

(らめえっ♡ こんにゃのお♡

死んじやうっ♡)

ぷるん♡

つつ♡
つつ♡
つつ♡

がっ♡

がっ...

がっ...



くす♥後悔しても遅いわよ?

最初から尻尾振って素直に媚びていれば優しくしてもらえなくても思った?

弁えなさい、お前らは奴隷なの♥
脳内ち○ぽ丸出しのクソ猿を
ただ気持ちよくする
訳が無いでしょ♥

甘い考えのゴミオスには
ちゃんと調教して
あげないとねえ?

(ひいん……♥♥♥)

ぷるん♡

くっ♡
くっ♡
くっ♡

がっ♡

がっ……

がっ……

ぐん♡



とは言え……壊しちゃってもつまんないし♡
そろそろイかせてあげるわ♡
ちゃんと反省もしたようだし……

もつと激しく腰振って
快楽を限界まで高めなさい♡
私の太ももに情けなく
ブチ撒けるのよ？
射精命令と同時にミルクいっぱい
飲ませてあげるから♡

ほらいくわよ？ 3・2・1……♡



射精^だせ♡

そして飲め♡

(んあっひいひいひいひいん♡♡♡♡)

やーん♡

いっ♡

いっ♡

ぐっ...♡

ざっ♡



煮詰めたドロドロ精子お漏らしながらのおっぱいミルク
とってもおいちいでちゅねえ♡

女の子様に操られる恐怖と快感、
思い知ったかしら？

満足するまで飲んだらまた
射精管理調教してあげるから♡

せいぜい今は至福の一時を楽しんでね♡



アジト奥。

避難用の隠し部屋で、ただ一人だけ息を潜めていた男。
暗い空間に響いたのは、女の愉快そうな声だった。

「最後の一匹、見いつけた♡」

「ひい!!」

「他の連中はもうみんな堕ちちゃった♡
残ってるのはお前だけ♡」

「そ、そんなっ!!」



誇らしげに揺れる爆乳を見せつけながら、
ゆっくりと歩み寄る女。

その威圧感に男は抗う気力も尽き、震えだす。

「そんなにおっぱいが怖いのか？
それじゃあ……♡」



頭を下げてお尻をおっぱいに差し出して……
はーい♡

屈服降参奴隷ポーズの完成ー♡

とっても似合ってるよ♡

こーんな情けない
格好させられてんのに
恐怖で震えて動けないね♡

ほーっ♡

むち♡

ひ
い
い
い
い
っ♡

ガ
ッ
ッ
ッ
ッ

ぶ
っ
っ
っ
っ



私のなつがーい超爆乳♥
軽く寄りかけただけでも
すごい重量でしょ？

やだあ♥

お尻がビクビク
震えてるのがおっぱいに
伝わってくるよ♥

これからどんなこと
されちゃうのか
怖いんでちゅかあ？

だいじょうぶ♥

落ち着いてくだちやい……





おふっ！
♡

ねっ！

ぶるん

チン！

わっ！わっ！わっ！わっ！わっ！わっ！わっ！わっ！わっ！わっ！

!!!?

あつはっは、痛そ〜♡
今何されたかわかりまちゅかー？

おっぱいでその汚いお尻づつ叩いて
あげたんでちゅよーん♡

全身が痺れるような衝撃と
激痛で大変でちゅねえ♡

ガクガク震えて♡
もう一発おかわりあげまちゅね♡



は？
待ちまちなーん♡

えいつ♡

べちーん♡

ひぎゃあああああ！！

ジュッ



くす♥おっぱいで叩かれて
マジ絶叫とかウケるw

お、お願い……助けて……

助けて……って、
それ私に言ってるの？

なんで女の子様である私が
下等なオス奴隷のお前を
助けてあげなきゃ
いけないんでちゅかあ？

身の程知らずには立場の違いを
徹底的に教えてあげないとでちゅね♥



おーら！

連続おっぱいビンタ♡

ぺちっ♡

ぺちーん♡

ほーん♡

ビンタイ♡

くらっ！

ひぎいん！！

っし♡

お前みたいに物わかりの
悪いクソバカは、強くて重たい
長乳おっぱい様に一方的に
ぶん殴られて
反省ちまちょうねー♡

ほーん♡



ばいーん♡ ぷよんっ♡ ぽっよーん♡

ぷるぷるした柔らかい

巨大乳肉が猛烈な勢いで襲いかかる♡

お尻ビクビク♡

真っ赤に腫れ上がっちゃって

たいへーん♡

でも私はおっぱい全然

痛くないから大丈夫♡

いやーん♡

おっぱい様強いよ♡

格差感じて悔しいよ♡

ひぎゃあ!!

ガクッ

あっ!

ああん♡

びゅん

惨めでちゅよねー？
お前も他のザコオス共も、
みーんなおっぱいに敗北^まける♡
これまで培ってきた経験も
積み上げた成果も
全部が台無し♡

女の子様にゼーんぶ
壊されちゃう♡
そんなのは当たり前♡
それがオスの運命♡
女権国へ行く前に奴隷としての
マインドを植え付けてもらいまちようねー♡

やだやだあ♡

だっ

だれか助けてえ♡♡



だから助けなんて来ねーよバーカ。
他のオス共も全員捕らえたつただろ？
お前らは死ぬまで一生、
女の子様の顔色伺って
ビクビク震えながら
女権国のために働くの♡

憎い女の子様に
踏みにじられながら
コキ使わる人生の始まり♡
もちろん、ストレス発散用の
サンドバッグとしても
使ってあげまぢゅよ♡

いっ！♡

あがっ♡

ひっ♡



あーあ、こんな虫けら共が
レジスタンスなんて本当笑わせる♡
おっぱいに屈服するため
だけに生まれてきた
無能オスが抵抗しようだなんて
烏^{おこ}澪がましいんだよ♡

オスに生まれた時点で
人生の敗北者なの♡お前らは♡
わかった？
わかったらお尻ぶっ叩かれながら
降参宣言してみようか♡

セーの♡

ひあ♡

やだっ♡

ああああっ♡



低能なオスが女の子様に逆らって
ごめんなひやいいいい♡♡♡♡

降参しましゅっ♡♡♡

女権国の奴隷として
生きていきまひゅっ♡♡♡♡



ぷっ♡

あっはっはっはっは♡♡♡

バーカ♡



—♪
ねえ、聞いてよ。オス狩り部隊の子から
「レジスタンス共を全員捕らえた」って報告があつたよ♡
どいつもどいつも弱すぎて話にならなかつたって♡
これもゼーんぶボクくんのおかげだね。
だから……はい♡

お手柄ボクくんへの
授乳タイム開始♡
寝かされて、もう自分の意志で
動かせるのはお口だけ♡
完全無力なマゾ赤ちゃん「できるのは
ミルクが溢れ出る乳首を
ちゅぱちゅぱ必死に吸う」っただけ♡



ちゅ…♡

ちゅっお…

ずし♡

仲間を犠牲にして飲む背徳感トッピング♡
おいちいでちゅかー？

あっ！

言い忘れてたけど

これがボクさんの

人生最後のミルクでちゅから♡

ゆっくり味わって飲んでくださいなー♡

♡ニャー♡

(ーωー)

ちゅ…



あれえ？

なにに不思議そうな反応してるんでちゅかあ？
お前はもう用済みなんだから
当たり前でちゅよねえ♡

欲しい情報は全部もらったし、
レジスタンスも
もう壊滅したんでちゅから。

これ以上ママがおっぱいあげる
メリットなんか無いじゃないでちゅか♡



もしかしてえ……
いつまでも特別扱いしてもらえぬと思いまちたかあ？

従順でいればずっとママの
おっぱい独占できるじゃあも
思ってたかあ？

はっ、思い上がったよう？
マゾオスの分際で♡



ていうかミルクで快楽調教してあげた
その身体もかなり限界きてるもんね？

簡単に壊れちゃうよわーい
玩具なんてママいらなーい♡

くす♡
使われるだけ使われて
ママに捨てられるの悔しい？

だいぢゅきなミルク
飲めなくなっちゃうの悲しい？



飲むだけで興奮止まらない♡
虐められたボロボロおちんぼも
強制的に元気になる♡

中毒性抜群の幸せ極悪ミルクを
最後にお腹いっぱい飲ませてやる♡

そして明日からのお前は
一生ミルクにありつけない
憐れなミルク中毒おっぱいマゾ奴隷♡
アハハハハ♡♡



!!

あーあ、ミルク飲むの止めちゃって……

流石に最後の反抗心が働いたかな？

でもぎゅーんねん♡



「飲め♡
無駄な抵抗すんな♡」

「ぜんぶ飲み干せ♡ゴミッブン♡」



マジでいい加減学べよう？
お前らオスの抵抗なんて
1ミリも意味ねーんだっつもの♡

ほんつとザコカスの癖に
無駄なプライド持ちやがってよ

お前らは女の子様の言いなりに
なつてれば良いんだよ♡

わかったか？ おい？



オスは一生地べたに這いつくばって
おっぱいに漬されて敗北^まけるのが
お似合いでちゅ♡

理不尽に襲われて、尊厳を奪われて
都合よく利用されて♡

女の子様との圧倒的な力の差に
なすすべなくひれ伏してる♡
バーカ♡



こんなに酷いって言われてんのに♡
女の子様の強さを骨の髄まで
刻みながらの格差ミルクおいちいね♡

ほんとバツカじゃねーの？お前。

そろそろ射精させてやるよ♡

おっぱいマゾ興奮最大まで高まったか？

いぢまぢぢぢよ〜……♡



『射精^イけ♡ ザコオス♡』

『これからも一生』

『おっぱいに敗北^ましてる♡♡♡♡』



(っあああああああああ♡♡♡♡)

がっぴゅ♡



っああああああああん♡♡♡♡

おわり

